

農林水産省土地改良事業等請負工事標準歩掛の改正点について

農林水産省農村振興局整備部設計課施工企画調整室

1. はじめに

農林水産省が行う土地改良事業等で実施する工種は、ダム、頭首工、用排水機場、開水路、管水路、畑地かんがい施設、ほ場整備工など多岐にわたっています。これらの工事の施工形態は、各工種とも、近年の社会環境の変化、土木技術の進展、建設機械の発展・普及などさまざまな要因により変化してきています。

農林水産省は、これらの要因の変化の的確な把握に努め、常に適正な標準歩掛となるよう、毎年、各種要因を考慮して実態調査等を行っております。この平成21年度の実態調査結果に基づき、土地改良事業等請負工事標準歩掛の改正を行い、平成22年度から適用することとしたので、ここに紹介します。

2. 改正の内容

土地改良事業等請負工事標準歩掛は、国土交通省および農林水産省の二省で共通する歩掛については二省共同調査歩掛として、農林水産省の特有な歩掛については、単独調査歩掛として実態調査

を行っているところです。

これらの調査により、平成22年度の土地改良事業等請負工事標準歩掛として149工種を定めております。農林水産省単独調査歩掛としては、「コルゲートパイプ機械布設」の歩掛の改正を行い、また、国土交通省との二省共同調査歩掛としては、「路盤工」等の歩掛の改正を行いました。全体としては、全面改正歩掛1工種、一部改正歩掛3工種を改正しました（表、図）。

改正歩掛の改正内訳

- ① 全面改正歩掛（1工種）
「コルゲートパイプ機械布設」
- ② 一部改正歩掛（3工種）
「路盤工」「PC橋架設工」「鋼製足場」

3. おわりに

土地改良事業等請負工事の積算基準は、土地改良事業等の請負工事費算定上重要な資料の一つであり、発注者をはじめとし、民間においても請負工事費の積算における標準的な指標として広く活用されるに至っています。

農林水産省では、このような認識のもと、今後も引き続き施工機械の動向、新技術・新工法等の

表 平成22年度 土地改良事業等請負工事標準歩掛一覧表

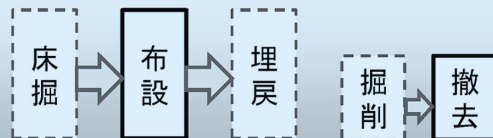
番号	歩 掛 名	番号	歩 掛 名
	1. 土 工		4. 基 礎 工
1	① 共通事項	44	* ① 鋼管杭・既製コンクリート杭打工（パイルハンマ工）
2	* ② 人土工	45	* ② 既製杭の杭頭処理工
3	* ③ 機械施工の共通事項	46	* ③ 既製コンクリート杭カットオフ工
4	* ④ ブルドーザ掘削押土	47	* ④ 鋼管・既製コンクリート杭打工（中掘工法）
5	* ⑤ バックホウ掘削	48	* ⑤ 場所打杭工（大口径ボーリングマシン工）
6	* ⑥ クラムシェル掘削	49	* ⑥ 場所打杭工（ダウンザホールハンマ工）
7	* ⑦ 岩石工	50	* ⑦ 場所打杭工（アースオーガ工・硬質地盤アースオーガ）
8	⑧ 盛土・埋戻	51	* ⑧ 場所打杭工（リバースサーキュレーション工）
9	* ⑨ ダンプトラック運搬（標準）	52	* ⑨ 粉体噴射攪拌工（DJM工法）
10	* ⑩ ブルドーザ敷均し・締固め	53	* ⑩ 軟弱地盤処理工（スラリー攪拌工）
11	* ⑪ ブルドーザ敷均し（狭幅）	54	* ⑪ 軟弱地盤処理工（高圧噴射攪拌工）
12	* ⑫ 振動ローラ締固め	55	* ⑫ 薬液注入工
13	* ⑬ 基面整正		5. フリューム類据付工
14	* ⑭ 人力法面仕上げ	56	① 鉄筋コンクリートフリューム機械据付
15	* ⑮ 法面整形工	57	② 鉄筋コンクリート柵渠人力据付
16	⑯ 人力荒仕上げ	58	③ 鉄筋コンクリート柵渠機械据付
17	⑰ 管水路基礎岩盤整形工（基面）	59	④ 鉄筋コンクリート大型水路機械据付
	2. 共通工	60	⑤ コルゲートフリューム据付（人力）
18	* ① かご工	61	* ⑥ ボックスカルバート機械据付
19	② ネットフェンス工	62	⑦ 水路用鉄筋コンクリートL形ブロック機械据付
20	③ 防護柵等の支柱削孔	63	* ⑧ コンクリート分水槽据付
21	④ コンクリートブロック積（張）工		6. 河川・水路工
22	⑤ 裏込工（ブロック積・ブロック張）	64	① ウィーブホール取付
23	* ⑥ 補強土壁工（テールアルメ工・多数アンカー工）	65	② サイド・アンダードレーン工
24	* ⑦ 補強土壁工（ジオテキスタイル工）	66	③ ブロックマット設置工
25	* ⑧ 擁壁工（井桁ブロック）	67	④ 合成ゴムシート布設工
26	* ⑨ プレキャスト擁壁工	68	* ⑤ 捨石工
27	⑩ 人力小運搬	69	* ⑥ 消波工
28	⑪ 機械（不整地運搬車）小運搬	70	* ⑦ 浚渫工（ポンプ式浚渫船）
29	* ⑫ 舗装版取壊し工	71	* ⑧ 消波根固めブロック工
30	⑬ 境界杭設置工	72	* ⑨ 多自然型護岸工（木杭打設）
31	* ⑭ 枠内中詰工（植生土のう）		7. 管水路工
32	* ⑮ プレキャスト法枠工	73	① 管水路基礎
33	* ⑯ アンカー工（ロータリーパーカッション式）	74	* ② 遠心力鉄筋コンクリート管人力布設
34	⑰ 芝付工	75	* ③ 遠心力鉄筋コンクリート管（B形）機械布設
35	* ⑰ コンクリート矢板工	76	④ 硬質塩化ビニル管人力布設
	3. コンクリート工	77	⑤ 硬質塩化ビニル管機械布設
36	* ① 基礎・裏込砕石工	78	⑥ 強化プラスチック複合管機械布設
37	* ② 基礎栗石工	79	⑦ ダクタイル鋳鉄管機械布設
38	* ③ コンクリート	80	⑧ 鋼管機械布設
39	* ④ 型 枠	81	⑨ コルゲートパイプ機械布設
40	* ⑤ コンクリート養生		
41	* ⑥ コンクリート継目工		
42	⑦ ダウエルバー取付		
43	⑧ コンクリート打設足場工		

番号	歩 掛 名	番号	歩 掛 名
82	⑩ 鋳鉄管切断		12. 地すべり防止工
83	⑪ FRPM管切断	121	* ① 集水井工(ライナープレート土留工法)
84	⑫ 制水弁据付工(人力)	122	* ② 集水井工(プレキャスト土留工法)
85	⑬ 制水弁据付工(機械)	123	③ 集排水ボーリング工
86	⑭ 空気弁据付工(人力)	124	* ④ 集排水ボーリング孔洗浄工
87	⑮ 小バルブ類取付工(人力)	125	* ⑤ かご工
	8. 道路工	126	* ⑥ 山腹水路工
88	* ① 路体・路床工		13. 復旧工
89	* ② 路床安定処理工	127	① 畦畔復旧工
90	* ③ 路盤工	128	② 耕地表土掘削・埋戻(機械)
91	* ④ アスファルト舗装工	129	③ 耕地復旧(耕地)
92	* ⑤ コンクリート舗装工		14. 仮設工
93	⑥ 砂利舗装工	130	① 土のう設置・撤去
94	⑦ グースアスファルト舗装工	131	* ② 大型土のう工
95	* ⑧ PC橋架設工	132	③ 水替工(小口径)
96	* ⑨ 道路附帯工	133	* ④ 締切排水工
97	* ⑩ 防護柵設置工	134	⑤ 釜場設置撤去工
	9. ほ場整備工	135	* ⑥ ウェルポイント
98	① ほ場整備整地工	136	* ⑦ 仮設材設置撤去工
99	② 基盤整地及び簡易整備	137	⑧ たて込み簡易土留
100	③ 暗渠排水工	138	* ⑨ 鋼製足場
101	④ 弾丸暗渠工	139	* ⑩ 支保工
102	⑤ 自動埋設暗渠工	140	⑪ 土工用マット敷設
	10. 農地造成工	141	⑫ 敷鋼板設置撤去
103	① 人力刈払	142	* ⑬ 仮橋・仮棧橋工
104	② レーキドーザ抜根	143	⑭ 道路補修
105	③ レーキドーザ排根	144	* ⑮ パイプロハンマ工(鋼矢板・H形鋼)
106	④ リップドーザ岩掘削	145	* ⑯ 鋼矢板打込み(アースオーガ併用圧入工)
107	⑤ アングルドーザ(階段工)	146	* ⑰ 油圧圧入引抜工
108	⑥ リップドーザ(耕起・深耕)		15. 共通仮設
109	⑦ レーキドーザ及びブルドーザ(しわよせ工法)	147	* ① 重建設機械分解組立運搬
110	⑧ 土壌改良資材散布(ライムソワー)	148	② パイプライン継目試験
111	⑨ 有機質資材散布(マニアスプレッダ)	149	③ 現場溶接部X線検査(鋼管類)
112	⑩ ロータリ(直装式)耕起砕土		標準歩掛 149工種
113	⑪ 石礫除去工(人力)		: 全面改正歩掛(二省0, 農単1, 計1工種)
114	⑫ 石礫除去工(機械)		: 一部改正歩掛(二省3, 農単0, 計3工種)
115	⑬ ケンブリッジローラ鎮圧		* : 二省共同調査歩掛
116	⑭ 雑物除去(農用地造成工用)		
117	⑮ 畑面植生		
	11. トンネル工		
118	① 岩トンネル(レッグ工法)		
119	② 岩トンネル(ドリルジャンボ工法)		
120	③ トンネル仮設備		

1. コルゲートパイプ機械布設

施工概要

コルゲートパイプ(円形1型, 円形2型, パイプアーチ型)を, バックホウ(クレーン機能付)を用いて布設する。



※本歩掛で対応しているのは実線部分である。

改正概要

◆適用範囲

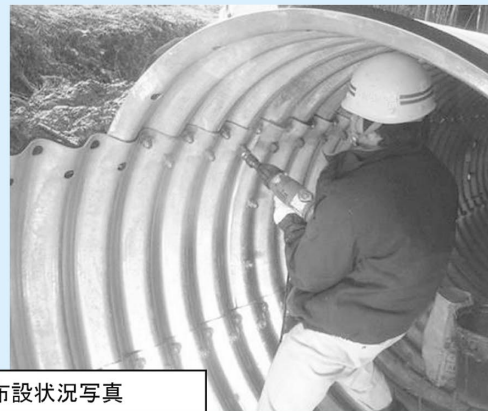
- ・布 設：人力 → 機械【バックホウ0.80m³(クレーン機能付)】
- ・呼び径：φ400～4,500mm → φ600～3,700mm

◆労務構成

普通作業員 → 世話役, 特殊作業員, 普通作業員

◆撤去歩掛

布設歩掛の50%



コルゲートパイプ布設状況写真

図 歩掛改正概要

施工形態の変化等, 現場実態を適正に反映した積算基準の改正に取り組んでいきたいと考えています。

また, 農林水産省では, 積算の方式をこれまでの「積み上げ方式」から「ユニットプライス型積

算方式」への移行に向けた取り組みを行っています。今後は, 「ユニットプライス型積算方式」の推進を図りながら, 土地改良事業等請負工事標準歩掛のあり方についても, 検討していきたいと考えています。